



涅槃図とは

宝蔵寺所蔵の涅槃図は、大きさが、縦 約 254cm(約 6 尺 7 寸)、横 約 156cm(約 4 尺 1 寸)、箱書きによると、江戸時代(宝永三丙戌年／1706 年)より伝わるたいへん貴重な寺宝のひとつです。

涅槃図は、娑羅双樹(さらそうじゅ)のもとで、頭を北にして西を向き、右脇を下にした姿で横たわって入滅(にゅうめつ)されたお釈迦様の周囲を、十大弟子や菩薩、天部の仏のほか、動物や鳥類、虫などが嘆き悲しむ様子が描かれたものです。(生き物は日本に生息している他に異国の動物や現実には存在しないような空想の動物も描かれています。) 2月15日(もしくは旧暦)には、宗派を超えて涅槃会が営まれることから、涅槃図が所蔵されているお寺は多くあります。

お釈迦様は、35歳で悟りをお開きになられてから45年間、インド各地を行脚して仏法を説き広められました。そして80歳になって、生れ故郷へ向かう途中で、クシナガラの跋提河(ばつだいが)のほとりで亡くなられました。

このたび、大江町誕生 60 周年博覧会 OE EXPO が開催されるにあたり、宝蔵寺では、2つの催し物を企画し、協力させていただきます。



1.トーキョー『和の建築・月布 宝蔵寺を構成する』

○日時：2020 年 2 月 16 日（日）10:00～11:00（参加無料）

○内容：2010 年に行われた本堂改修工事を振り返り、建築物として寺院ならではの苦労や面白さ、最新建築技法と伝統建築の側面から、関係するプロたちが当時のビフォーアフターをトークし、解説します。また、建材として使われた地域産材（西山杉）の特徴などに触れ、大江町の豊かさを学びます。

○ファシリテーター：鈴木悦郎氏（鈴木悦郎設計工房）／ゲスト：荒井正俊氏（株式会社市村工務店）

2. 涅槃図 一般公開

○概要：2 月 15 日はお釈迦さまがお亡くなりになった日で、当日は檀家さんらによってお釈迦様の遺徳を偲ぶ法会（「おしゃかさま」涅槃会）が営まれます。2 月 15 日（土）午後からはこの涅槃図を一般公開します。

＜宝蔵寺の概要＞

山号・寺名	月布山 寶藏寺（げっぷさん ほうぞうじ）（※旧字が正式です）
御本尊	金剛界大日如来（こんごうかい だいにちによらい）
宗派	真言宗智山派（しんごんしゅう ちさんば）
本山	総本山 智積院（ちしゃくいん／京都市東山七条）
創建・中興開山	元和 5（西暦 1619）年 中興開山一世 宥盛僧都
所在地	〒990-1271 山形県西村山郡大江町大字月布 209 番地
電話	0237-64-2240

＜宝蔵寺 SNS＞

Facebook と Instagram では、宝蔵寺の「今」を届けようというテーマで、四季折々の花や木々、風景等を投稿しています。（※現在、LINE は試運転中）

- ウェブサイト <https://tsukinuno.jp>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/tsukinuno/>
- インスタグラム <https://www.instagram.com/tsukinuno/>
- LINE <http://nav.cx/udqEcX>



弘法大師 空海
ご誕生 1250 年

＜弘法大師 空海 ご誕生 1250 年＞

来る令和 5 年（2023 年）は、真言宗の宗祖弘法大師空海さまのご誕生 1250 年を迎えます。皆さまとともに大師さまのご誕生 1250 年をお祝いしましょう。